

C-86 日本の婦人既製服大衆化への考察  
実践女子大家政 鍛島康子

目的 日本における服装素材の流行と形態、趣好の変化が、既製服大衆化過程にどのように影響したかをさぐった。

方法 生産統計や消費者実態調査を中心に、欧米のこれらとも比較しながら考察した。

結果 日本では欧米に比べ、スーツ型とスカートの購入が多い。(1)スーツ型はいわゆるシャネル調生地の変遷によって、ドレス型と交替した。同時に、フレタホルテの移入などによって既製服イメージを高級化し、大衆化を促進した。(2)スカート・スラックスは化合織の進出とレジャー感覚の普及と共に既製服化が進展したといえる。